選ばれるとちぎへ「allとちぎ」で

輝くふるさと日本の〝とちぎ〟を世界に発信！

とみかず
元気宣言
2016

県民の歌

岡　きよし 作詞
川島　博 作曲
栃木県県章・県民の歌選定委員会 補作

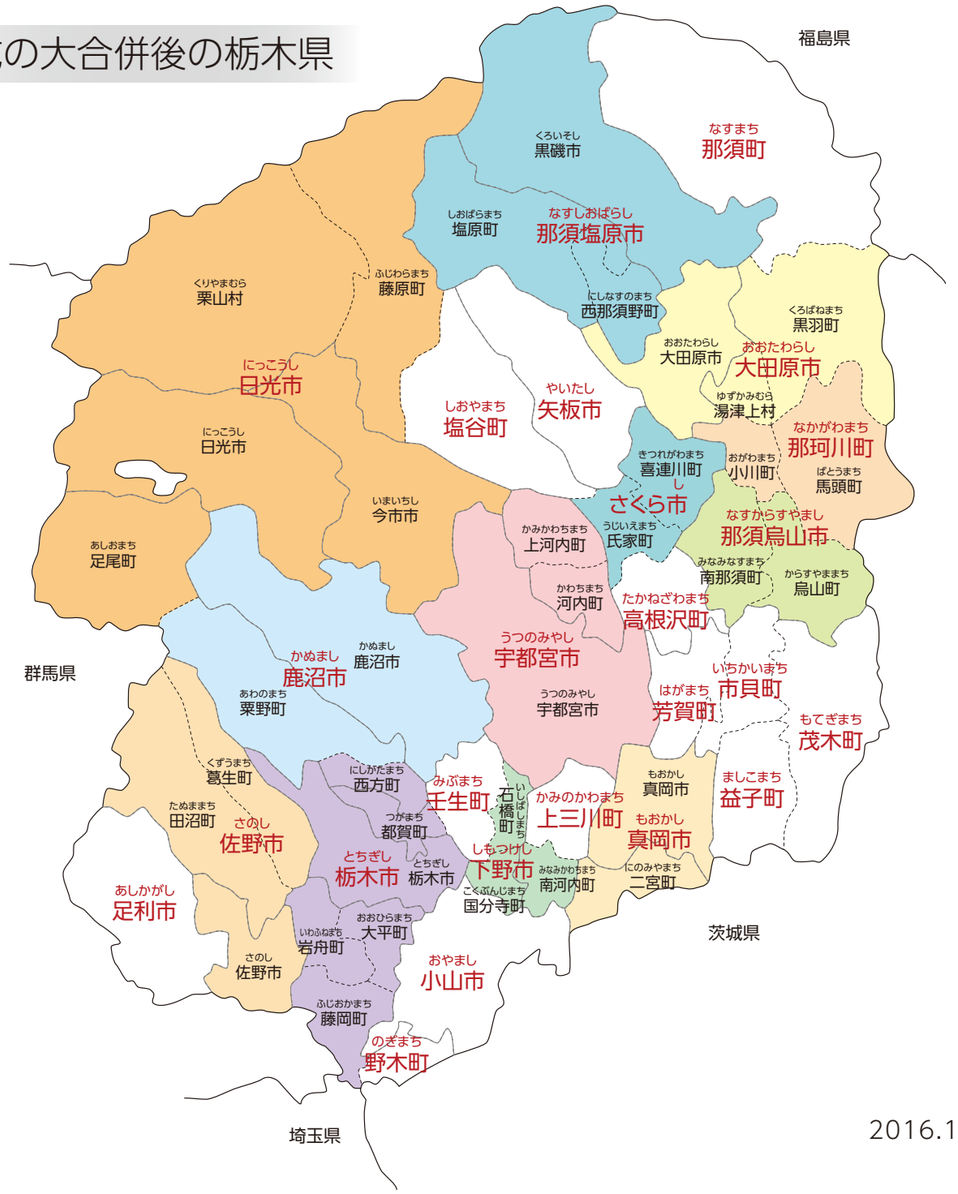
一、とちの葉の 風さわやかに
晴れわたる 町よいらかよ
男体は 希望に明けて
日の光 よもにみなぎる
栃木県 われらの われらのふるさと

二、鬼怒川の 水きよらかに
尽くるなき さちよ恵みよ
生産は 日ごとに伸びて
躍進の いぶきたくまし
栃木県 われらの われらのふるさと

三、人の和の 夢おおらかに
盛りあがる 自治よ自由よ
けんらんの 文化にはえて
とこしえに 若さあふるる
栃木県 われらの われらのふるさと

（昭和三十七年十二月二十五日制定）

平成の大合併後の栃木県



2016.10.13

とみかず元気宣言2016

目　次

Ⅰ 「選ばれるとちぎ」を目指して　P1

Ⅱ 「とみかず元気宣言2016」の構成　P2

1 ひとが輝く「元気なとちぎ」

2 成長力アップ「元気なとちぎ」

3 健康・安心「元気なとちぎ」

4 強くしなやか「元気なとちぎ」

5 未来への礎（いしずえ）を築く「元気なとちぎ」

Ⅲ 「とみかず元気宣言2016」の内容　P3

Ⅳ 新たに取り組む項目　P9

Ⅴ 県政4年間の主な実績　P19

Ⅰ 「選ばれるとちぎ」を目指して

日本には、子を想う親の情の深さを示す
「焼け野の雉（きぎす） 夜の鶴」という教えがある。
栃木では、だれもが、
そんな人として生きる社会を目指したい…。

とちぎの地方創生は、緒に就いたところ。
肝心なのは、「これから」そして「ここから」です。
本県には、豊かな自然、深い歴史・文化、地域の伝統、
美味しい食など、たくさんの「本物」があります。
これらを磨き上げ、全国に、そして海外に発信することで、
皆様とともに**「選ばれるとちぎ」**を実現して参ります。
持てる力のすべてをかけて。
やりましょう。とちぎ創生のチャレンジ!

福田富一

Ⅱ「とみかず元気宣言2016」の構成

選ばれるとちぎへ「all とちぎ」で

1 ひとが輝く「元気なとちぎ」

人が集い、人が育ち、人が輝く。誰もが能力を発揮して笑顔になれる、そんな元気なとちぎづくりを進めます。

2 成長力アップ「元気なとちぎ」

多様な産業が地力を蓄えて国内外に力強く羽ばたいていく、多くの人を魅きつける、そんな元気なとちぎづくりに挑戦します。

3 健康・安心「元気なとちぎ」

生涯にわたり、健康で安心して暮らすことができる郷土。住みたい・住み続けたい、そんな元気なとちぎづくりに取り組みます。

4 強くしなやか「元気なとちぎ」

防災、環境保全、エネルギー。課題を乗り越え、未来に向けて強くしなやかに歩み続ける、そんな元気なとちぎづくりに挑みます。

5 未来への礎（いしずえ）を築く「元気なとちぎ」

暮らす人たちが自信と誇りを持ち、地方創生を実現する。行財政の基礎がしっかりとした、そんな元気なとちぎづくりを実行します。

Ⅲ「とみかず元気宣言2016」の内容

※ ○印は新たに取り組む項目、●印は従来から取り組んでいる項目です。

1 ひとが輝く「元気なとちぎ」

【教育・グローバル人材の育成】（14項目）

○ 小学校における35人学級を推進します。
○ 小中高等学校を通した英語教育を充実します。
○ 未来のアスリートを育てる総合スポーツゾーンの整備を推進します。
○ スポーツ医・科学センターを整備します。
○ とちぎ未来アスリートプロジェクトを展開し、本県開催の国体などに向け、競技力の向上を図ります。
○ 「輝くとちぎの人づくり推進基金」を活用して地域づくりの担い手の育成を推進します。
○ みかも山公園に青少年教育施設を整備します。
○ 県立高校の再編を進めるとともに、特色ある魅力的な高校づくりを推進します。
● とちぎっ子学力アッププロジェクトを推進し、児童生徒一人ひとりの学力向上を図ります。
● 高校生、大学生等の留学支援を通じ、グローバルに活躍できる国際人を育成します。
● 元気なとちぎ人を育てる食育・地産地消を推進します。
● 思いやりの心を育む「心の教育」を進め、いじめ撲滅の取組を推進します。
● スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充します。
● 私学教育を振興します。

【子ども・子育ての支援】（16項目）

○ 「とちぎ結婚支援センター」を設置します。
○ 「結婚応援カード事業」を創設します。
○ 子だくさん応援プロジェクトを展開します。
○ 「頑張るママ応援パスポート事業」を創設します。
○ 「子どもの未来応援条例（仮称）」を制定します。
○ 子どもの貧困対策などを推進します。
○ 保育所待機児童0（ゼロ）作戦を展開します。
● 児童養護施設における家庭的環境の整備を進めるとともに、退所児童などに対するアフターケアを充実します。
● 児童相談所の体制強化や市町など関係機関との連携強化を図ります。
● 病児・病後児保育、休日保育等の多様な保育サービスの充実を図ります。
● インクルーシブ教育の推進など、障害のある子ども一人ひとりに応じた指導と支援の充実を図ります。
● ひとり親家庭に対する就労支援の充実を図ります。
● 仕事と家庭の両立を目指すワーク・ライフ・バランスを促進します。

- 幼稚園や認定こども園における教育環境の維持･向上を図るなど、就学前教育の充実を図ります。
- 親学習プログラムの活用、「とちぎの高校生『じぶん未来学』」の推進等により、子育て力の育成を図ります。
- 「家庭の日」や「とちぎ子ども育成憲章」を通じ、青少年の成長をオールとちぎで支援します。

【若者、女性の活躍】（3項目）

- 子ども若者･ひきこもり総合相談センター「ポラリス☆とちぎ」の取組などを通じ、子どもや若者に対する相談支援を推進します。
- 「とちぎ女性活躍応援団」の活動などを通じ、女性の社会参画を積極的に支援します。
- 女性の再就職やキャリアアップに向けた取組を支援します。

2 成長力アップ「元気なとちぎ」

【産業振興･企業誘致･雇用の確保】（14項目）

○ 技術革新を踏まえ、新たな成長産業の創出･育成を図ります。
○ IoTなど情報関連技術の活用を促進します。
○ 市町と連携し、産業団地の整備を推進します。
○ 技術の継承など伝統工芸の振興に向けた環境の整備に取り組みます。
○ 「とちぎ未来人材応援基金」を活用し、産業界の人材確保を促進します。
○ 「とちぎ技能五輪･アビリンピック2017」を開催します。
○ ものづくり若者応援プロジェクトを実施します。
● 重点産業５分野(自動車、航空宇宙、医療機器、光、環境)と先端ものづくり産業の振興を図ります。
● 本社、研究開発機能の集積の拡大など、戦略的企業誘致を推進します。
● 既立地企業の定着促進を図ります。
● とちぎ創生融資を拡充し、創業や新事業展開を支援します。
● 海外市場も視野に入れた企業の販路開拓を支援します。
● “フードバレーとちぎ”を目指し、食品産業の集積を促進します。
● ものづくり県を支える若者のキャリア教育などの充実を図ります。

【農林業の成長産業化】（10項目）

○ 「100年先の森林（もり）」を見据えた林業経営のあり方を検討します。
○ とちぎ農産物のブランド力強化を図ります。
○ 「園芸大国とちぎ」づくりを推進します。
○ 新食肉センターの整備を推進します。

Ⅲ「とみかず元気宣言2016」の内容

- いちご王国躍動プロジェクトを展開します。
- 県産農産物の輸出拡大の取組を推進します。
- 本県農業をリードするプロ農家など農業の担い手の育成を促進します。
- 農業への農業内外からの参入を促し、新規就農者の確保を推進します。
- 本州一の生産を誇る「酪農王国とちぎ」の強化を図ります。
- 農業の6次産業化を推進します。

【観光立県】（9項目）

○ デスティネーションキャンペーンの展開により、全国からの誘客を促進します。
○ 「おもてなし条例（仮称）」を制定し、国内の観光誘客やインバウンドの拡大を促進します。
○ 東京オリンピック･パラリンピック等に向け、通訳ボランティアやおもてなしボランティアの養成を促進します。
○ 県域版DMOを設立し、地域主体の観光地づくりを促進します。
○ 日光国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を促進します。
○ 「日光･会津･上州歴史街道対流圏プロジェクト」を推進します。
○ 観光地や市街地におけるコミュニティサイクルなどの活用を促進します。
● 東アジアなどを中心とした外国人観光客の誘客対策を推進します。
● 北関東自動車道を活用した広域連携による誘客促進を図ります。

3 健康･安心「元気なとちぎ」

【医療と健康づくり】（11項目）

○ ICTの活用やデータの見える化などにより、県民の健康づくりを促進します。
○ 「健康マイレージパスポート事業」を創設します。
○ 「がん対策推進条例（仮称）」を制定します。
○ 「糖尿病重症化予防プログラム」を策定します。
● 認知症医療連携体制の充実を図ります。
● 地域包括ケアシステムの構築を図ります。
● 総合的な在宅医療推進体制の整備を推進します。
● 生涯にわたる歯･口腔の健康づくりを推進します。
● 救急医療などを担う地域中核病院を支援します。
● 医師、看護師、助産師等の医療従事者の確保を推進します。
● 総合的な自殺対策を推進します。

【共生社会づくり】（13項目）

○ ひとり暮らし高齢者などが地域で安心して暮らせるよう、市町等による見守りネットワークの拡充などを支援します。
○ 障害の有無、年齢、性別等に関わらず利用しやすい生活環境を創出するユニバーサルデザインとちぎを推進します。
○ 手話通訳の導入促進など、障害者の情報保障に係る環境整備を推進します。
○ 食品ロス削減に向けたフードバンクなど、県民運動を促進します。
● 認知症患者などの家族介護者を支える仕組みの充実を図ります。
● 高齢者や子育て世帯が安心して暮らせる多様な住まいづくりを推進します。
● 栃木県障害者差別解消推進条例を適切に運用し、障害者の自立と共生を促進します。
● 障害者の生活を支える相談支援ネットワークの充実を図ります。
● 障害者の就労支援の充実と工賃アップの取組を推進します。
● 福祉・介護職員の養成と定着を促進します。
● 難病対策を推進します。
● とちぎ生涯現役シニア応援センター（ぷらっと）を活用し、就労から社会貢献活動まで、高齢者の社会参加を促進します。
● 地域社会の支え手となる高齢者ボランティアの育成を推進します。

【防犯、事故防止対策】（6項目）

● 歩道整備や防犯カメラの設置促進など、学校周辺通学路の安全対策を推進します。
● 住民の自主的な防犯活動を促進します。
● 消費生活相談体制の充実・強化や体系的な消費者教育を推進します。
● 子どもや高齢者に優しい３Ｓ（see/slow/stop）運動などによる交通事故防止を推進します。
● 犯罪被害者、DV被害者等への支援を推進します。
● 学校安全ボランティアなどによる地域における見守り活動を促進します。

【地域の手による地域づくり】（6項目）

○ 「栃木ふるさと支援センター（仮称）」を設置し、住民による地域コミュニティの維持・再生の取組などを促進します。
○ 集落機能などを維持する「小さな拠点」の形成を促進します。
○ 市町と連携した一元的な情報発信などにより、本県への移住・定住を促進します。
○ 空き家の適正管理の取組を促進します。
○ LRTの導入に向けた市町の取組を支援します。
● 「とちぎ食の回廊」づくりを推進し、農山村地域の活性化を図ります。

4 強くしなやか「元気なとちぎ」

【防災・減災】（6項目）

○ 防災体制の充実にオールとちぎで取り組みます。
○ 防災関係機関との情報伝達体制の充実を図ります。
○ 航空消防防災活動を強化します。
○ ハザードマップやタイムラインの活用など、浸水、地滑り、道路冠水等へのソフト対策を推進します。
○ 減災ネットワーク道路上の橋梁の耐震化を推進します。
○ 民間木造住宅の建替支援などによる耐震化を促進します。

【道路等ネットワークの充実】（5項目）

○ 東北縦貫自動車道、北関東自動車道の機能強化を図るなど、県域を越えた連携を推進します。
○ 「とちぎの道路・交通ビジョン」の実現に向け、広域道路網マスタープランに基づく道路ネットワークの整備を推進します。
● 地域における移動手段としての公共交通ネットワークの整備を推進します。
● コンパクトなまちづくりの促進など、中心市街地の活性化を支援します。
● 自転車通行空間の整備を推進します。

【環境を守り育てる】（8項目）

○ 「山の日」記念全国大会を開催します。
● とちぎの元気な森づくり県民税を活用し、森林の公益的機能の増進を図ります。
● オールとちぎでエコな暮らしづくりを促進します。
● リサイクルの高度化を推進します。
● 野生鳥獣の個体数調整や農林業被害の防止など、総合的な対策を推進します。
● 全国のモデルとなる安全で安心な管理型最終処分場の整備を推進します。
● 指定廃棄物の処理に関し、県としての役割を果たしていきます。
● 放射性物質に関する食品安全管理を推進します。

【持続可能エネルギー】（2項目）

○ バイオマスなどを活用した新たなエネルギー社会の構築を図ります。
○ 安定供給性に優れた再生可能エネルギー源として水力発電所の整備を推進します。

5 未来への礎（いしずえ）を築く「元気なとちぎ」

【スポーツ・文化・協働】（8項目）

○ 東京オリンピック・パラリンピック等に向けた体制の強化を図ります。
○ 東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致に取り組みます。
○ とちぎ版文化プログラムを策定します。
○ 「とちぎ発マナー集（仮称）」を作成します。
● 県内プロスポーツチームの振興を図ります。
● 誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。
● 文化振興基金を活用し、地域文化遺産の保護や地域文化活動の活性化を図ります。
● ＮＰＯなど地域の多様な主体と協働する環境づくりを推進します。

【ブランド力の向上】（4項目）

○ 本県ブランド力の向上を図ります。
○ とちぎの魅力・実力を発信し、海外誘客の促進を担う「とちぎインバウンド大使（仮称）」を創設します。
● 県政情報の見える化と積極的な発信に努め、県民にわかりやすい県政を推進します。
● 栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」を活用した情報発信を推進します。

【広域連携】（4項目）

○ 市町と連携し、地域の実情に応じた広域化・共同化に向けた取組を推進します。
○ 市町と連携し、地域で活躍する「達人」との意見交換などを通じて本県の地方創生に取り組みます。
○ スポーツを核とした広域連携・地方創生を推進します。
○ 地方創生の実現に資する人事交流を推進します。

【行財政基盤の強化】（7項目）

○ 公共施設等の総合的・計画的な管理（点検・診断、維持修繕等）を推進します。
○ 地方公会計制度の導入を推進します。
○ 民間のノウハウや技術の積極的な活用を図ります。
● 持続可能な財政基盤を確立します。
● 適正な定員管理を実施します。
● 地方分権改革を推進し、権限移譲や規制改革などに積極的に取り組みます。
● 総合的な県立病院改革を推進します。

Ⅳ 新たに取り組む項目

項　目	内　容	実施時期
1 ひとが輝く「元気なとちぎ」		
【教育・グローバル人材の育成】		
①小学校における35人学級を推進します。	小学校第3・4学年に35人以下学級を導入し、また、学習面や行動面で配慮が必要な児童生徒が在籍する学校に対しては、非常勤講師を適切に配置するなど、きめ細かな指導のための教育環境の充実を図ります。	通　期
②小中高等学校を通した英語教育を充実します。	東京オリンピック・パラリンピックを視野に、小中高の連携による英語教育や高校生を対象とした英語ディベートを推進し、グローバルコミュニケーション能力の育成を図ります。	通　期
③未来のアスリートを育てる総合スポーツゾーンの整備を推進します。	第77回国民体育大会の本県開催を見据え、県民総スポーツの推進拠点である総合スポーツゾーンの整備を着実に進めます。	通　期
④スポーツ医・科学センターを整備します。	総合スポーツゾーン新スタジアム内にスポーツ医・科学支援の拠点となる施設を整備し、県内アスリートの育成・強化を図ります。	後　期
⑤とちぎ未来アスリートプロジェクトを展開し、本県開催の国体などに向け、競技力の向上を図ります。	本県開催の国体や各種国際大会で活躍するアスリートを栃木県から輩出することを目指して県内から選抜した小中学生の能力育成に取り組み、県全体の競技力の向上を図ります。	通　期
⑥「輝くとちぎの人づくり推進基金」を活用して地域づくりの担い手の育成を推進します。	「輝くとちぎの人づくり推進基金」を活用し、女性、若者、障害者等、誰もが能力を発揮しながら地域づくりの担い手として活躍できるよう、地域活動の人材の育成に取り組みます。	通　期

項　目	内　容	実施時期
⑦みかも山公園に青少年教育施設を整備します。	青少年に多様な体験活動の機会を提供するため、みかも山公園に新たな青少年教育施設を整備します。	後　期
⑧県立高校の再編を進めるとともに、特色ある魅力的な高校づくりを推進します。	時代のニーズや生徒数の減少に対応するため、新たな県立高校再編計画を策定します。また、魅力的な県立学校づくりに向け、施設のリノベーションを計画的に推進します。	前　期
【子ども・子育ての支援】		
①「とちぎ結婚支援センター」を設置します。	マッチングシステムによるパートナー探しを行う「とちぎ結婚支援センター」を市町と協力して設置し、出会いの場を創出します。	前　期
②「結婚応援カード事業」を創設します。	新婚夫婦や結婚を予定しているカップルを対象に、特典サービスが受けられるカードを企業と協力して交付し、新婚世帯等を応援します。	前　期
③子だくさん応援プロジェクトを展開します。	放課後児童クラブの第3子以降の利用料を軽減するなど、多子世帯の子育てを応援します。	前　期
④「頑張るママ応援パスポート事業」を創設します。	妊産婦に「頑張るママ応援パスポート（仮称）」を交付し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援につなげます。	前　期
⑤「子どもの未来応援条例（仮称）」を制定します。	「子どもの未来応援条例（仮称）」を制定し、子ども・子育ての支援にオールとちぎで取り組みます。	前　期
⑥子どもの貧困対策などを推進します。	支援の必要な子どもたちが、放課後等に気楽に通うことができ、健全な成長と自立が促される居場所づくりを推進します。	通　期
⑦保育所待機児童0（ゼロ）作戦を展開します。	待機児童の解消に向け、保育所や認定こども園などの整備を促進するとともに、保育士の確保を図ります。	通　期

項　目	内　容	実施時期
2 成長力アップ「元気なとちぎ」		
【産業振興・企業誘致・雇用の確保】		
①技術革新を踏まえ、新たな成長産業の創出・育成を図ります。	人工知能（AI）、ビッグデータ等の技術革新を的確に捉え、ヘルスケア産業やロボット産業などの新たな成長産業の創出・育成を図ります。	通　期
②IoTなど情報関連技術の活用を促進します。	県内企業において生産・販売などの業務効率の向上が図られるよう、高度化するIoTなどの情報関連技術への対応を促進します。	通　期
③市町と連携し、産業団地の整備を推進します。	市町との連携の下、本県の優れた立地環境を生かしながら、将来の需要を見据えた新たな産業団地の整備に取り組みます。	通　期
④技術の継承など伝統工芸の振興に向けた環境の整備に取り組みます。	技術の継承など、本県の魅力・ブランド力の向上につながる伝統工芸の振興に向けた環境の整備に取り組みます。	通　期
⑤「とちぎ未来人材応援基金」を活用し、産業界の人材確保を促進します。	地元産業界と協力して設置した「とちぎ未来人材応援基金」を活用し、県内の製造業に就職するUIJターン学生などの奨学金返還を支援します。	通　期
⑥「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」を開催します。	「とちぎから未来（みらい）へ翔（はばた）く 技（わざ）と夢（ゆめ）」のスローガンの下、「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」を開催し、若手技能者の育成と障害者の雇用を促進します。	前　期
⑦ものづくり若者応援プロジェクトを実施します。	高校生や県内若手技能者の意欲と実力の向上につながるコンテストを実施することなどにより、ものづくり人材の育成と技能の継承を図ります。	通　期

項　目	内　容	実施時期
【農林業の成長産業化】		
①「100年先の森林(もり)」を見据えた林業経営のあり方を検討します。	100年先の森林を見据え、事業の多角化や集積などを支援するとともに、森林資源のフル活用を図り、林業・木材産業の成長産業化を促進します。	通　期
②とちぎ農産物のブランド力強化を図ります。	オリジナル品種育成、生産、販売、PR等の総合的なブランディングに係る戦略を新たに策定し、県産農産物のブランド力の強化を図ります。	通　期
③「園芸大国とちぎ」づくりを推進します。	農業産出額3,000億円の達成に向けて、園芸作物の生産拡大を図るためのハード・ソフト両面における積極的な施策を展開します。	通　期
④新食肉センターの整備を推進します。	新食肉センター整備を着実に推進するとともに、食肉食品関連産業の集積に向けた検討を進めます。	通　期
【観光立県】		
①デスティネーションキャンペーンの展開により、全国からの誘客を促進します。	国内最大規模の観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーンを集中的に展開し、全国からの誘客と観光地とちぎのイメージ向上を図ります。	通　期
②「おもてなし条例(仮称)」を制定し、国内の観光誘客やインバウンドの拡大を促進します。	国内の観光誘客やインバウンドの拡大を目的とした条例を制定し、外国人宿泊数50万人を目指すなど、観光立県とちぎの実現に向け、オールとちぎでの「おもてなし」の向上を図ります。	前　期
③東京オリンピック・パラリンピック等に向け、通訳ボランティアやおもてなしボランティアの養成を促進します。	東京オリンピック・パラリンピックの開催などを視野に、研修会の開催などにより、通訳ボランティアや各種のおもてなしボランティアの養成を促進します。	通　期

項　目	内　容	実施時期
④県域版DMOを設立し、地域主体の観光地づくりを促進します。	地域を中心に観光地づくりの推進主体となる県域版DMOを設立します。	後　期
⑤日光国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を促進します。	「国立公園満喫プロジェクト」を活用して日光国立公園を世界水準のナショナルパーク化するとともに、海外への情報発信を強化することなどにより、本県インバウンドの増加を図ります。	通　期
⑥「日光・会津・上州歴史街道対流圏プロジェクト」を推進します。	道路ネットワークの強化などにより、本県の日光地域とこれに隣接する福島県会津地方や群馬県の観光資源を有機的に連携させて新たな観光ルートを創出し、本県への更なる観光誘客を推進します。	通　期
⑦観光地や市街地におけるコミュニティサイクルなどの活用を促進します。	ヘルスツーリズムなど健康志向の高まりを捉え、コミュニティサイクルなどの活用により、周遊観光などの利便性向上に取り組む市町、観光関係団体等を支援します。	通　期
3　健康・安心「元気なとちぎ」		
【医療と健康づくり】		
①ICTの活用やデータの見える化などにより、県民の健康づくりを促進します。	ICTを活用したヘルスケアの推進、各種健康データの地図化・図表化などを通して、県民の健康づくりを促進します。	通　期
②「健康マイレージパスポート事業」を創設します。	健康づくりの取組にポイントを付与する制度を創設し、県民一人ひとりの健康づくりの活動を支援します。	前　期
③「がん対策推進条例(仮称)」を制定します。	がん対策の推進に向けた条例を制定し、県民の死亡原因の第1位であるがんについて、対策の充実強化を図ります。	前　期

項　目	内　容	実施時期
④「糖尿病重症化予防プログラム」を策定します。	糖尿病の早期発見・早期治療の促進に向けて、「糖尿病重症化予防プログラム」を策定し、市町・保険者と連携して糖尿病重症化予防の取組を推進します。	前　期
【共生社会づくり】		
①ひとり暮らし高齢者などが地域で安心して暮らせるよう、市町等による見守りネットワークの拡充などを支援します。	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が地域で安心して暮らせるよう、市町等による見守りネットワークや空き店舗を活用した「通いの場」の拡充などを支援します。	通　期
②障害の有無、年齢、性別等に関わらず利用しやすい生活環境を創出するユニバーサルデザインとちぎを推進します。	東京パラリンピックや本県開催の全国障害者スポーツ大会も見据え、公共施設等のバリアフリー化や統一的なピクトグラムの普及啓発とともに、ICTの活用などにより、誰にでも利用しやすい生活環境づくりを推進します。	通　期
③手話通訳の導入促進など、障害者の情報保障に係る環境整備を推進します。	手話通訳や要約筆記者の養成、各種媒体における活用等を通じて、障害者の情報保障に係る環境整備を推進します。	通　期
④食品ロス削減に向けたフードバンクなど、県民運動を促進します。	市町等と連携して食品ロス削減のための普及啓発を推進するとともに、NPOなどが行うフードバンクなどの活動を促進します。	通　期
【地域の手による地域づくり】		
①「栃木ふるさと支援センター（仮称）」を設置し、住民による地域コミュニティの維持・再生の取組などを促進します。	退職者などのキャリアや知見を生かす仕組みづくりを支援するとともに、住民が主体となって地域の様々な課題に取り組む地域の維持再生活動を促進します。	通　期
②集落機能などを維持する「小さな拠点」の形成を促進します。	商店や診療所など生活に必要な機能をコンパクトに集約し、ネットワークで結ぶことにより、住み慣れた地域で安心して暮らせる「小さな拠点」の形成を促進します。	通　期

項　目	内　容	実施時期
③市町と連携した一元的な情報発信などにより、本県への移住・定住を促進します。	「とちぎ暮らし・しごと支援センター」を活用して本県への移住と就労の相談にワンストップで対応するとともに、市町と連携して地域の空き家情報などを一元的に発信し、本県への移住・定住を促進します。	通　期
④空き家の適正管理の取組を促進します。	防災、衛生、景観等を踏まえ、市町と連携しながら、空き家の適正管理の仕組みづくりを推進します。	通　期
⑤LRTの導入に向けた市町の取組を支援します。	関係機関と連携し、LRTの導入に向けた市町の取組を支援します。	通　期

4　強くしなやか「元気なとちぎ」

項　目	内　容	実施時期
【防災・減災】		
①防災体制の充実にオールとちぎで取り組みます。	地域防災に関する専門的人材の育成、災害応援協定による県内企業との連携等により、防災体制の充実を図ります。	通　期
②防災関係機関との情報伝達体制の充実を図ります。	県、市町、消防本部、病院等の防災関係機関をつなぐ「防災行政ネットワーク」の衛星系機器をデジタル化し、情報伝達体制の充実を図ります。	通　期
③航空消防防災活動を強化します。	赤外線カメラの搭載や航続距離の延長など、優れた性能を有する消防防災ヘリに更新し、広域化・多様化する航空消防防災活動に的確に対応します。	前　期
④ハザードマップやタイムラインの活用など、浸水、地滑り、道路冠水等へのソフト対策を推進します。	洪水ハザードマップやタイムラインの活用、土砂災害警戒区域の周知等のソフト対策を充実し、効果的な防災・減災対策を推進します。	通　期

項　目	内　容	実施時期
⑤減災ネットワーク道路上の橋梁の耐震化を推進します。	災害時の円滑な避難・救助活動などを行うため、高速道路などと防災拠点を連絡する減災ネットワーク道路上にある橋梁の耐震化を推進します。	通　期
⑥民間木造住宅の建替支援などによる耐震化を促進します。	耐震化の必要性や助成制度の周知、木造住宅の建替支援等により、民間住宅の耐震化を促進します。	通　期
【道路等ネットワークの充実】		
①東北縦貫自動車道、北関東自動車道の機能強化を図るなど、県域を越えた連携を推進します。	産業や物流の効率化を図り、県域を越えた連携を推進するため、東北縦貫自動車道・北関東自動車道における渋滞多発区間の改善やスマートインターチェンジの追加による機能強化などを図ります。	通　期
②「とちぎの道路・交通ビジョン」の実現に向け、広域道路網マスタープランに基づく道路ネットワークの整備を推進します。	「とちぎの道路・交通ビジョン」実現により、人口減少問題を克服し、都市から農山村に至るまで活力を波及させるため、広域道路網マスタープランに基づき、県内道路ネットワークの整備を推進します。	通　期
【環境を守り育てる】		
①「山の日」記念全国大会を開催します。	「山の日」記念全国大会を開催することにより、山の日制定の趣旨の浸透を図り、森林・水源の保全や地域の活性化などにつなげるとともに、本県の魅力ある豊かな自然を国内外に発信します。	前　期
【持続可能エネルギー】		
①バイオマスなどを活用した新たなエネルギー社会の構築を図ります。	燃料電池車をはじめとする水素社会への対応や太陽光、バイオマス等を活用したエネルギーの地産地消の推進など、新たなエネルギー社会の構築を推進します。	通　期

項　目	内　容	実施時期
②安定供給性に優れた再生可能エネルギー源として水力発電所の整備を推進します。	安定供給性に優れた再生可能エネルギー源である水力発電所の整備を計画的に推進します。	通　期

5　未来への礎（いしずえ）を築く「元気なとちぎ」

【スポーツ・文化・協働】		
①東京オリンピック・パラリンピック等に向けた体制の強化を図ります。	東京オリンピック・パラリンピックや本県開催の国体などに向け、戦略的な取組をオールとちぎで展開するため、体制の強化を図ります。	前　期
②東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致に取り組みます。	大会の成功に貢献するとともに、世界のトップアスリートとの交流により県民に夢と希望を与えるため、東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致に積極的に取り組みます。	通　期
③とちぎ版文化プログラムを策定します。	とちぎ版文化プログラムを策定し、東京オリンピック・パラリンピックを契機に本県の魅力ある文化の国内外への発信や県民文化の底上げに取り組みます。	前　期
④「とちぎ発マナー集（仮称）」を作成します。	県民が共有し広く誇れる活動様式を集めた、とちぎ人のためのマナー集を作成します。	前　期
【ブランド力の向上】		
①本県ブランド力の向上を図ります。	「とちぎブランド取組方針」を策定し、「ベリー グッド ローカル とちぎ」のキャッチフレーズを軸に、オールとちぎで、本県の地域資源を磨き上げ、戦略的な情報発信を行います。	通　期

項　目	内　容	実施時期
②とちぎの魅力・実力を発信し、海外誘客の促進を担う「とちぎインバウンド大使（仮称）」を創設します。	とちぎの魅力・実力を国際的に発信するとともに海外から本県への誘客促進を担う「とちぎインバウンド大使（仮称）」を創設します。	前　期
【広域連携】		
①市町と連携し、地域の実情に応じた広域化・共同化に向けた取組を推進します。	市町と連携し、公共施設の集約化や民間委託など、地域の実情に応じた広域化・共同化が図られる仕組みづくりなどの取組を推進します。	通　期
②市町と連携し、地域で活躍する「達人」との意見交換などを通じて本県の地方創生に取り組みます。	市町と連携し、とちぎ地方創生推進会議の活用や地域で活躍するエキスパート人材である「達人」との意見交換などを通じて、本県の地方創生に取り組みます。	前　期
③スポーツを核とした広域連携・地方創生を推進します。	2年間で県内全市町を巡る国際自転車レース「ツール・ド・とちぎ」の開催支援を通じて広域連携・地方創生を推進し、自転車利活用立県を目指します。	前　期
④地方創生の実現に資する人事交流を推進します。	地方創生の実現に向け、より効果的な人事交流を市町や民間企業などとの間で推進します。	前　期
行財政基盤の強化		
①公共施設等の総合的・計画的な管理（点検・診断、維持修繕等）を推進します。	公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の点検・診断や維持修繕などを適切に行い、利用者などの安全を確保するとともに、公共施設等の長寿命化や最適化を計画的に推進します。	通　期
②地方公会計制度の導入を推進します。	統一的な基準による財務書類などを早期に作成・公表するなど、地方公会計制度の導入を推進します。	前　期
③民間のノウハウや技術の積極的な活用を図ります。	県有施設の整備・運営において、県民サービスの向上やトータルコスト削減などの観点から、PPP/PFI手法の導入など、民間活力の活用を推進します。	通　期

Ⅴ 県政4年間の主な実績

私は、県民の皆様とガッチリ　スクラムを組みながら、“チームとちぎ”のリーダーとして、東日本大震災からの復旧復興をはじめ、人が輝き、人が集う日本一元気な“とちぎ”を目指して県政運営に全力で取り組んで参りました。以下は、「新とみかず政策宣言・2012」に掲げた政策を中心とした、この4年間の主な実績です。

1 災害に強い“とちぎ”

○「災害に強いとちぎづくり条例」を施行（平成26年度）
○栃木県被災者生活再建支援制度を創設（平成25年度）
○県有施設や公立小中学校の耐震化を推進

2 人が輝く“とちぎ”

○小学校4・5年生、中学校2年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」を実施（平成26年度）
○とちぎ子どもの未来創造大学を開校（平成26年度）
○県立特別支援学校「宇都宮青葉高等学園」を開校（平成28年度）
○少人数学級、指導困難な学級への教員の複数配置を推進
○「栃木県いじめ防止基本方針」を策定（平成26年度）
○大学コンソーシアムとちぎと連携し、海外留学・海外インターンシップを実施（平成27年度）
○栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター（ポラリス☆とちぎ）を開設（平成26年度）
○とちぎの高校生「じぶん未来学」を実施（平成27年度）
○栃木県女性活躍推進会議を設置・開催
○とちぎ生涯現役シニア応援センター（ぷらっと）を設置（平成26年度）
○一流芸術の体験学習の場を提供（平成26年度）
○とちぎ“いにしえの回廊”ルートマップを作成（平成25年度）
○第77回国民体育大会、第22回全国障害者スポーツ大会を招致（平成34年開催）
○障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）の供用を開始（平成28年度）
○総合スポーツゾーンの整備を推進

3 支え合い思いやる“とちぎ”

○養護に関する専門的な相談援助を推進する「児童家庭支援センター」を設置（平成27年度）
○児童養護施設を退所した児童等の社会的自立を支援する「とちぎユースアフターケア事業協同組合」を設立（平成25年度）
○第3子以降の保育料免除の対象を未就学児に拡大（平成28年度）
○認知症疾患医療センターの設置・運営を6医療機関に拡大（平成26年度）
○夜間休日の精神医療電話相談窓口を設置（平成25年度）
○県内全市町が消費生活センターを設置（平成27年度）
○とちぎ性暴力被害者サポートセンター（とちエール）を設置（平成27年度）

4 健康長寿“とちぎ”

○「健康長寿とちぎづくり推進条例」を施行（平成26年度）
○小児救急電話相談体制を24時間化（平成26年度）
○栃木県口腔保健支援センターを設置（平成28年度）
○「栃木県薬物の濫用の防止に関する条例」を施行（平成27年度）

5 成長力あふれる“とちぎ”

○マイクロテクノロジーラボを整備（平成27年度）
○ジェトロ栃木貿易情報センターを誘致（平成27年度）
○「栃木県中小企業・小規模企業の振興に関する条例」を施行（平成27年度）
○技能五輪全国大会、全国アビリンピックを誘致（平成29年度開催）
○「スカイベリー」を本格出荷（平成26年度）
○水稲新品種「とちぎの星」等を品種登録（平成27年度）
○JRデスティネーションキャンペーンを誘致（平成30年開催）
○新たな観光キャッチコピー「本物の出会い 栃木」を決定（平成25年度）
○「本物の出会い 栃木パスポート」を発行（平成25年度）
○英国大使館別荘記念公園を開園（平成28年度）
○本県への移住・定住を促進する「とちぎ暮らし・しごと支援センター」を設置（平成28年度）

6 環境を守り活かす“とちぎ”

○「栃木県版自転車利用環境創出ガイドライン」を策定（平成25年度）
○流域下水道浄化センターに消化ガス発電を導入（平成26年度）
○県営ダムでESCO事業を導入（寺山ダム（平成25年度）、塩原ダム（平成26年度））

7 揺るぎない基盤“とちぎ”

○栃木県立がんセンターを地方独立行政法人へ移行（平成28年度）
○PFI等民間活力の活用を推進
○県独自規制の見直しを実施（平成27年度）
○スマートインターチェンジの事業化が決定（大谷地区、都賀西方PA、矢板北PA）
○新4号国道6車線化を実現
○新とちぎ百選として「とちぎの百様」を決定（平成27年度）
○世界陸上競技選手権北京大会に向けたハンガリー陸上競技選手団の
　事前キャンプを受入れ（平成27年度）
○地域ブランド力（魅力度）ランキング35位（平成27年度）

福田とみかずプロフィール

生年月日

昭和28年5月21日　日光市（旧今市市）生まれ

略　歴

・昭和41年 3月　旧今市市立猪倉小学校卒業
・昭和44年 3月　旧今市市立大沢中学校卒業
・昭和47年 3月　栃木県立宇都宮工業高校卒業
・昭和47年 4月　栃木県入庁
・昭和54年 3月　日本大学理工学部建築学科2部卒業（夜間）
・昭和56年 4月　栃木県退職
・昭和56年 4月　福田富一設計・福田富一行政書士事務所開設
・昭和58年 5月　宇都宮市議会議員選挙　初当選
・昭和62年 4月　同2期目当選
・平成 2年 2月　栃木県議会議員補欠選挙　次点
・平成 3年 4月　栃木県議会議員選挙　初当選
・平成 7年 4月　同2期目当選
・平成11年 4月　宇都宮市長選挙　初当選
・平成15年 4月　同2期目当選
・平成16年11月　栃木県知事選挙　初当選
・平成20年11月　同2期目当選
・平成24年11月　同3期目当選